

平成26年3月期 第2四半期
決算説明会

平成25年11月14日
戸田建設株式会社

本資料には、当社及び当社グループの将来についての計画、戦略、業績の予測に関する記述が含まれています。

これらの記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が予測したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績または展開は、記述されているものと異なる可能性があることをご承知おきください。

本日の内容

1. 決算説明

- 管理本部長 鞠谷 祐士

2. 課題と取り組み

- 代表取締役社長 今井 雅則

1. 決算説明

管理本部長 鞠谷 祐士

1-1. 決算概要

決算のポイント

- **連結売上高 2,083億円**（前期比▲2.1%）
 - ： 前年第2四半期と同水準で推移し、前期比2.1%減少の2,083億円となった。
- **営業利益 58億円**（前期差+203億円）
 - ： 前期に採算重視の受注方針への転換を行ったことや慎重な工事収益の見積りを実施したことにより完成工事総利益が向上した結果、営業利益は、58億円となった。
- **建設受注高（個別） 3,176億円**（前期比+111.8%）
 - ： 大型の再開発工事等の受注により、前期比+111.8%と大幅なアップとなった。

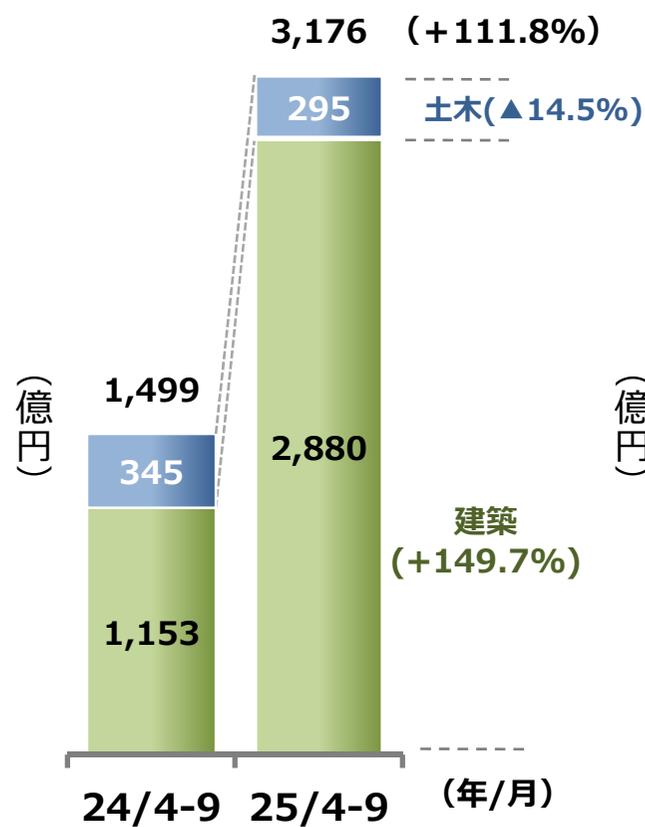
決算概要

(百万円)

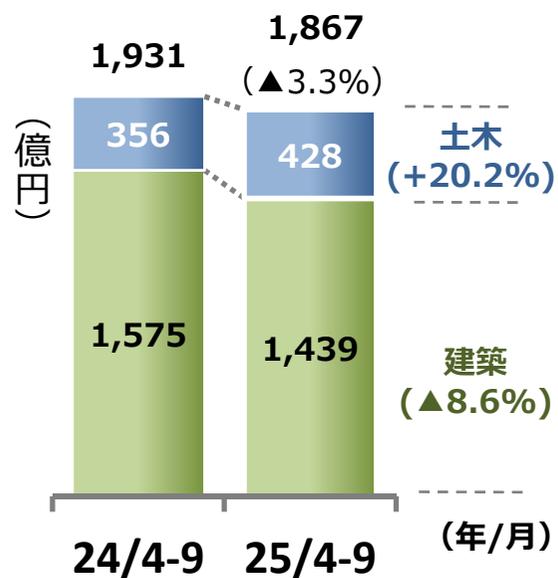
	25/3期 第2四半期	26/3期 第2四半期			
		期初 (5/14) 予測	実績	前期比	予測との差異
連結売上高	212,830	203,000	208,387	▲2.1%	5,387
営業利益	▲14,415	▲400	5,892	-	6,292
経常利益	▲13,608	240	6,665	-	6,425
四半期純利益	▲33,824	3,800	11,109	-	7,309
建設受注高 (個別)	149,964	152,000	317,605	111.8%	165,605

建設事業の業績（個別）

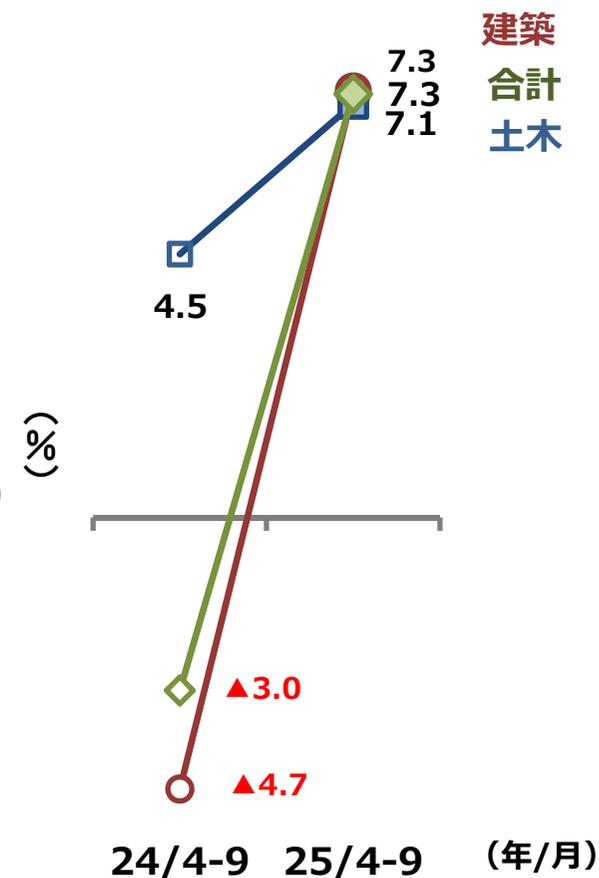
建設受注高



完成工事高

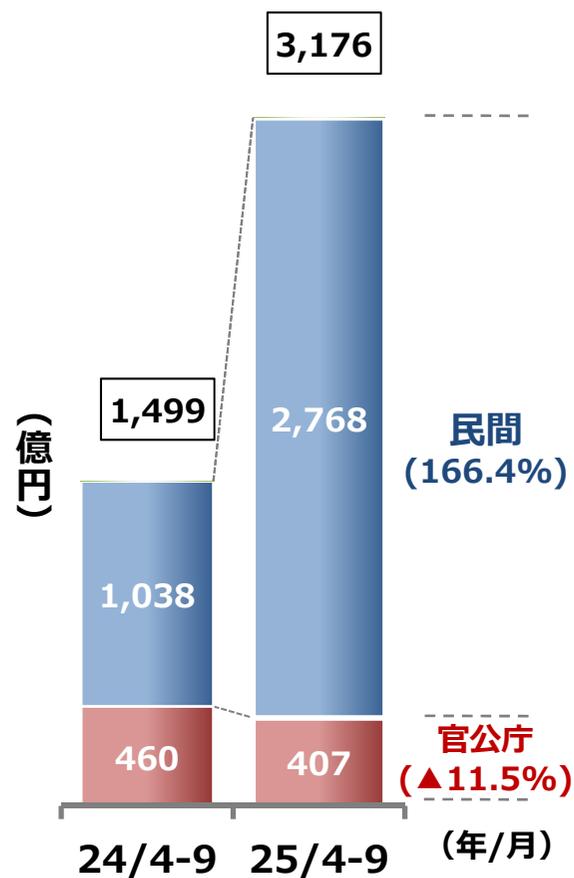


完成工事利益率

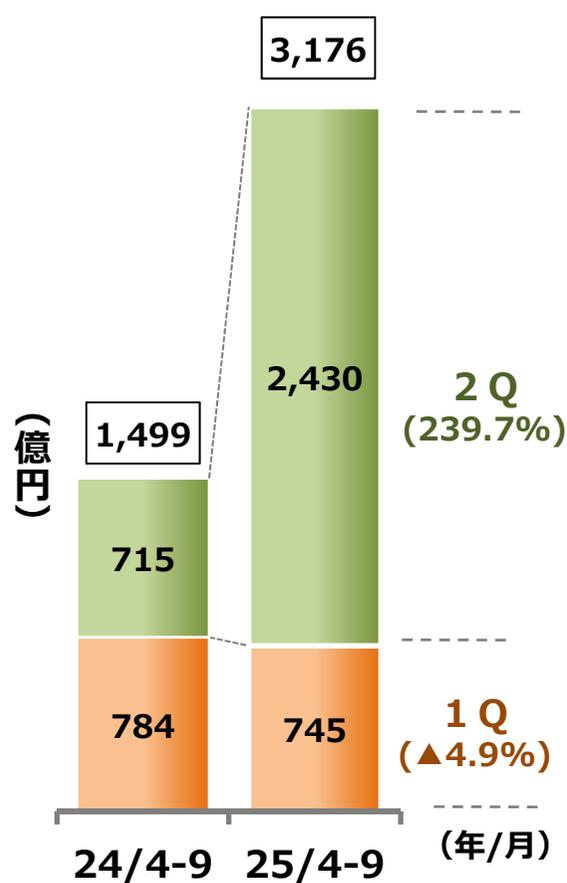


建設受注高の内訳（個別）

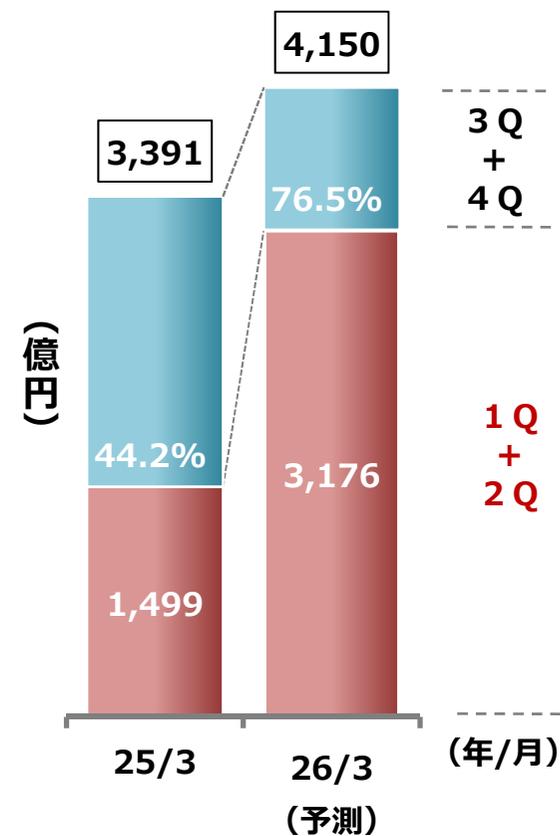
発注者区分別



四半期別



(参考) 進捗状況



主な受注工事

	発注者	工事名
建築	三菱地所他	大手町一丁目第3地区第一種市街地再開発
	広島駅南口Cブロック 市街地再開発組合	広島駅南口Cブロック第一種市街地再開発
	国家公務員共済組合連合会	高齢者総合ケアセンター・九段坂病院
	日本赤十字社	鳥取赤十字病院新病棟等増改築
	国立病院機構 九州がんセンター	九州がんセンター新築
神戸学院	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス D号棟・体育館	
土木	都市再生機構	平成24年度織笠地区・山田地区整地
	日本下水道事業団	札幌市東雁来雨水ポンプ場建設

※敬称略、工事名は略称

主な完成工事

	発注者	工事名
建築	近畿地方整備局	京都国立博物館平常展示館建築
	東急不動産	東急ハーヴェストクラブ熱海新築
	雪印メグミルク	乳製品統合工場建設
	市街地再開発組合	北戸田駅東1街区再開発
	岐阜県多治見市	新多治見市民病院建設
土木	環境省地球環境局	平成24年度浮体式洋上風力発電実証事業
	鉄道建設・運輸施設 整備支援機構	北海道新幹線、万太郎路盤他
	東北地方整備局	仙台湾南部海岸中浜工区坂元地区第1復旧

※敬称略、工事名は略称

1-2. 決算詳細説明

【連結】グループの状況

事業		国内子会社	海外子会社	15社
建設	建築	<ul style="list-style-type: none"> 戸田リフォーム(株) (株)アペックエンジニアリング 千代田建工(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ブラジル戸田建設(株) 戸田建設工程(上海)有限公司 タイ戸田建設(株) ベトナム戸田建設(有) 戸田フィリピン(株) ABTD(株) 	9社
	土木	<ul style="list-style-type: none"> 戸田道路(株) 		1社
不動産		<ul style="list-style-type: none"> 千代田土地建物(株) 	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ戸田建設(株) 	2社
その他		<ul style="list-style-type: none"> 戸田ファイナンス(株) 千代田スタッフサービス(株) 東和観光開発(株) 		3社

【連結】グループ業績概況

25/9 単位：億円	戸田建設		子会社計		連結		連単 倍率
		%		%		%	
売上高	1,918		249		2,083		1.09
売上総利益	150	7.9	7	3.1	156	7.5	1.04
一般管理費	85		13		97		
営業利益	64	3.4	▲5	▲2.3	58	2.8	0.91
営業外収支	7		0		7		
経常利益	72	3.8	▲5	▲2.2	66	3.2	0.92
特別損益	37		13		46		
税引前当期純利益	109		7		112		
法人税等	0		0		1		
当期純利益	109	5.7	6	2.6	111	5.3	1.02

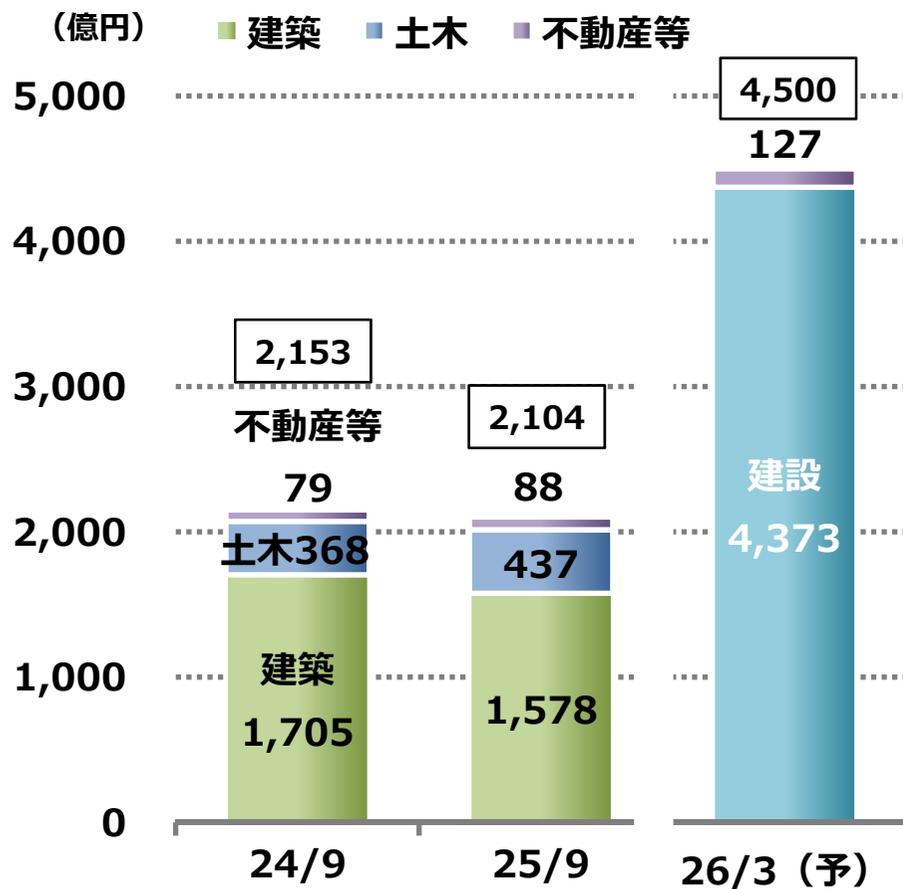
【連結】連結損益計算書

単位：億円	24/9 (実績)		25/9 (実績)		増減率 %	26/3 (予測)	
		%		%			%
売上高	2,128		2,083		▲2.1	4,500	
売上総利益	▲31	▲1.5	156	7.5	—	261	5.8
一般管理費	112		97			214	
営業利益	▲144	▲6.8	58	2.8	—	47	1.0
営業外収支	8		7			13	
経常利益	▲136	▲6.4	66	3.2	—	60	1.3
特別損益	▲31		46			45	
税引前当期純利益	▲167		112			105	
法人税等	170		1			5	
当期純利益	▲338	▲15.9	111	5.3	—	100	2.2

※26/3期予測は、今回決算修正値

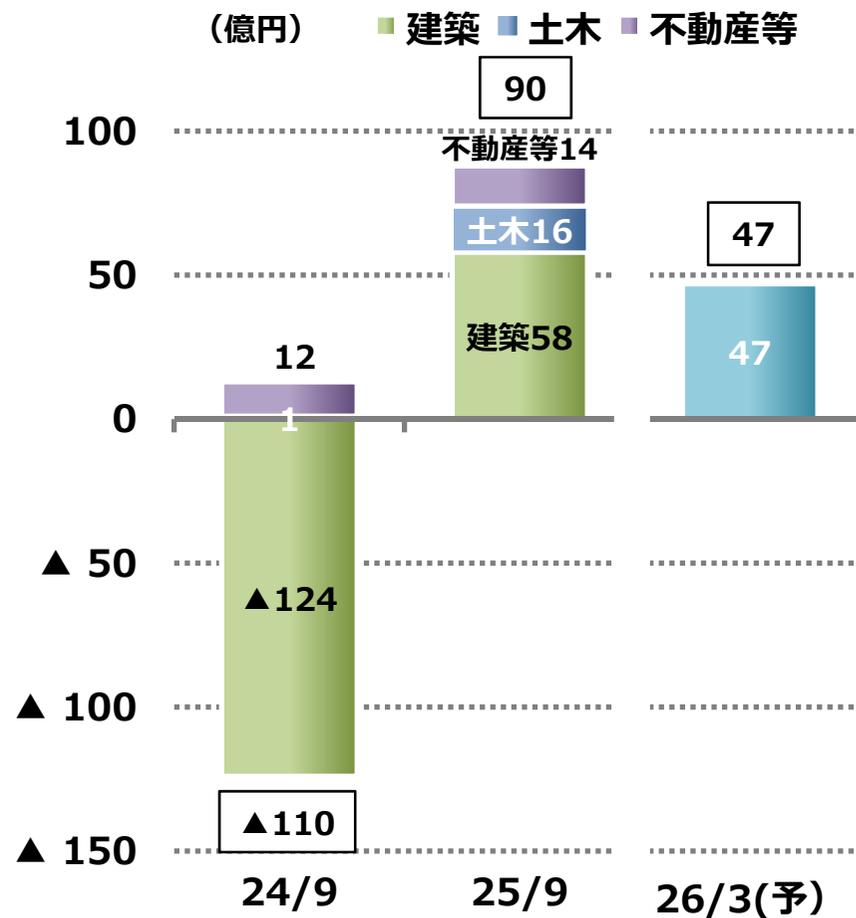
【連結】セグメント 売上高・営業利益

売上高



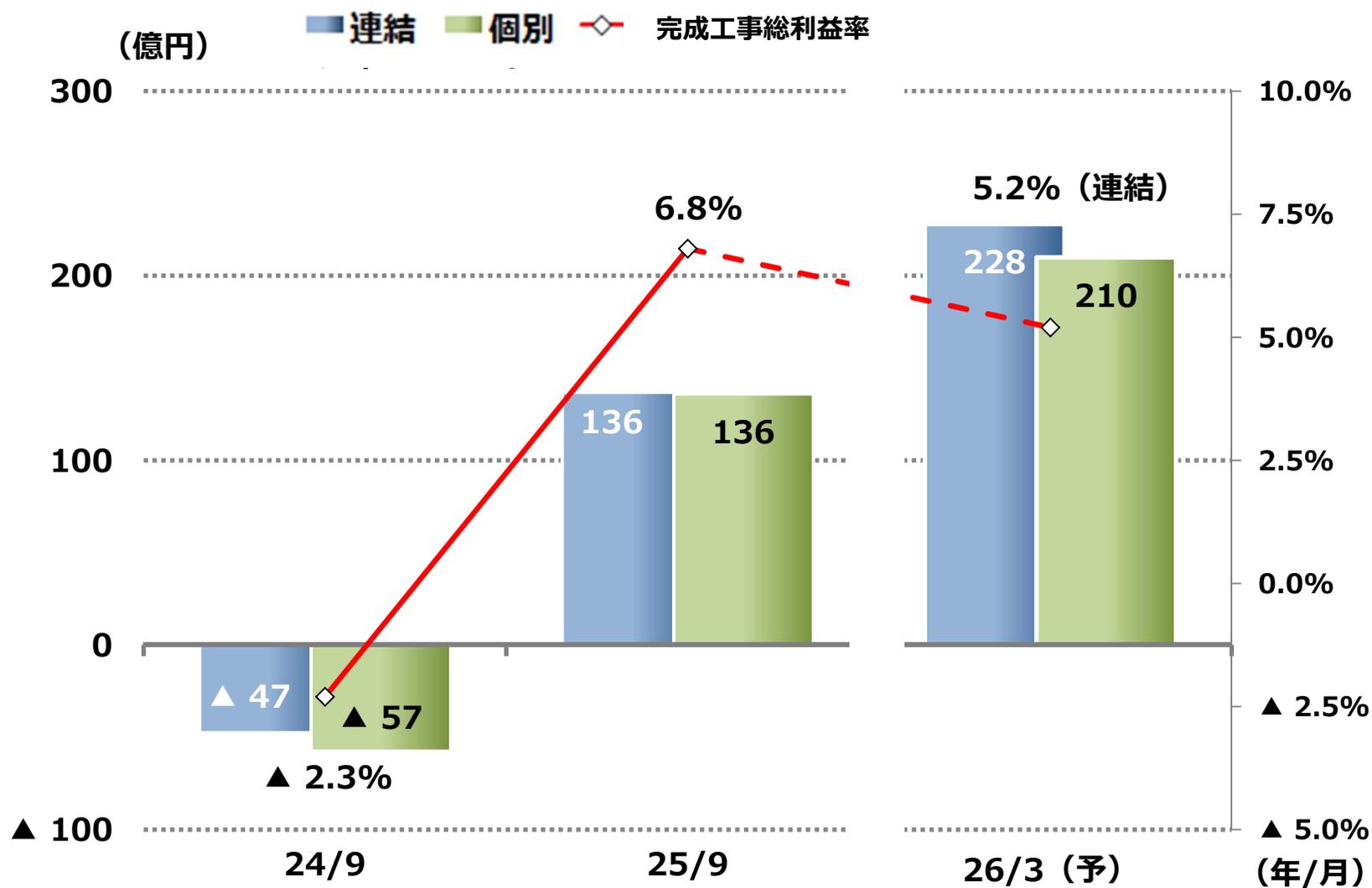
※セグメント別売上高は、セグメント間取引を含んでおります。

営業利益

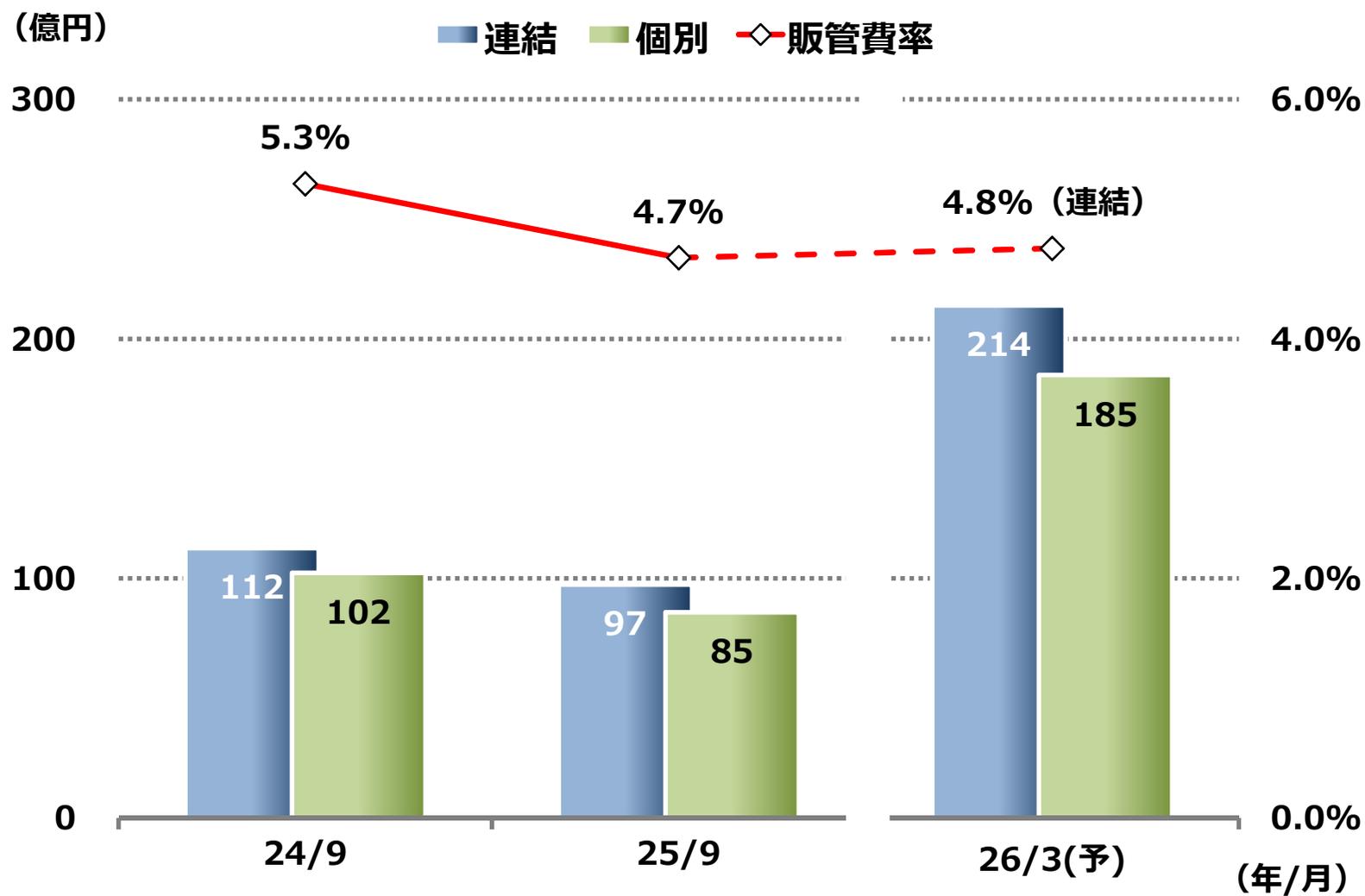


※セグメント別営業利益には、全社費用等が含まれておりません。

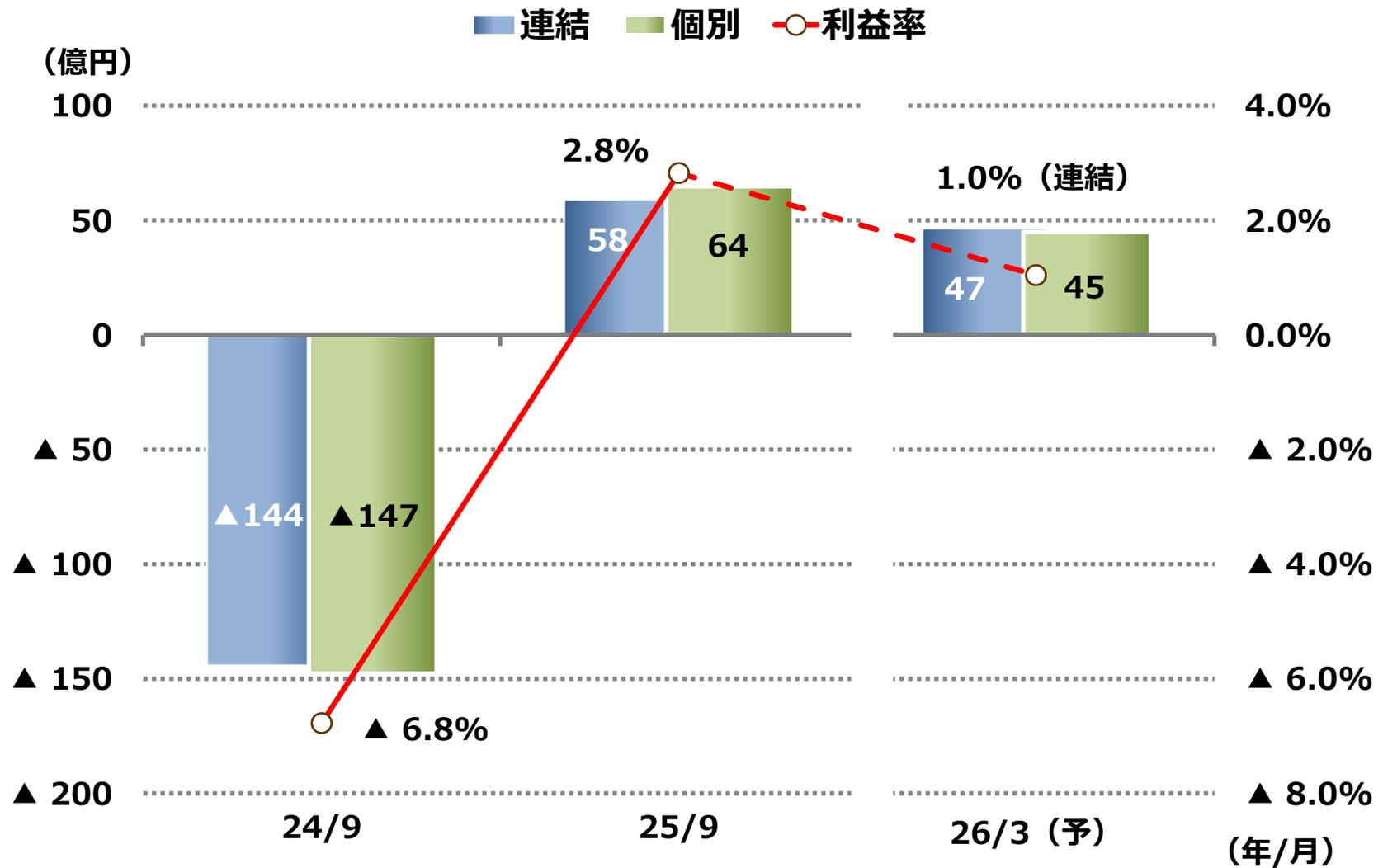
完成工事総利益の推移



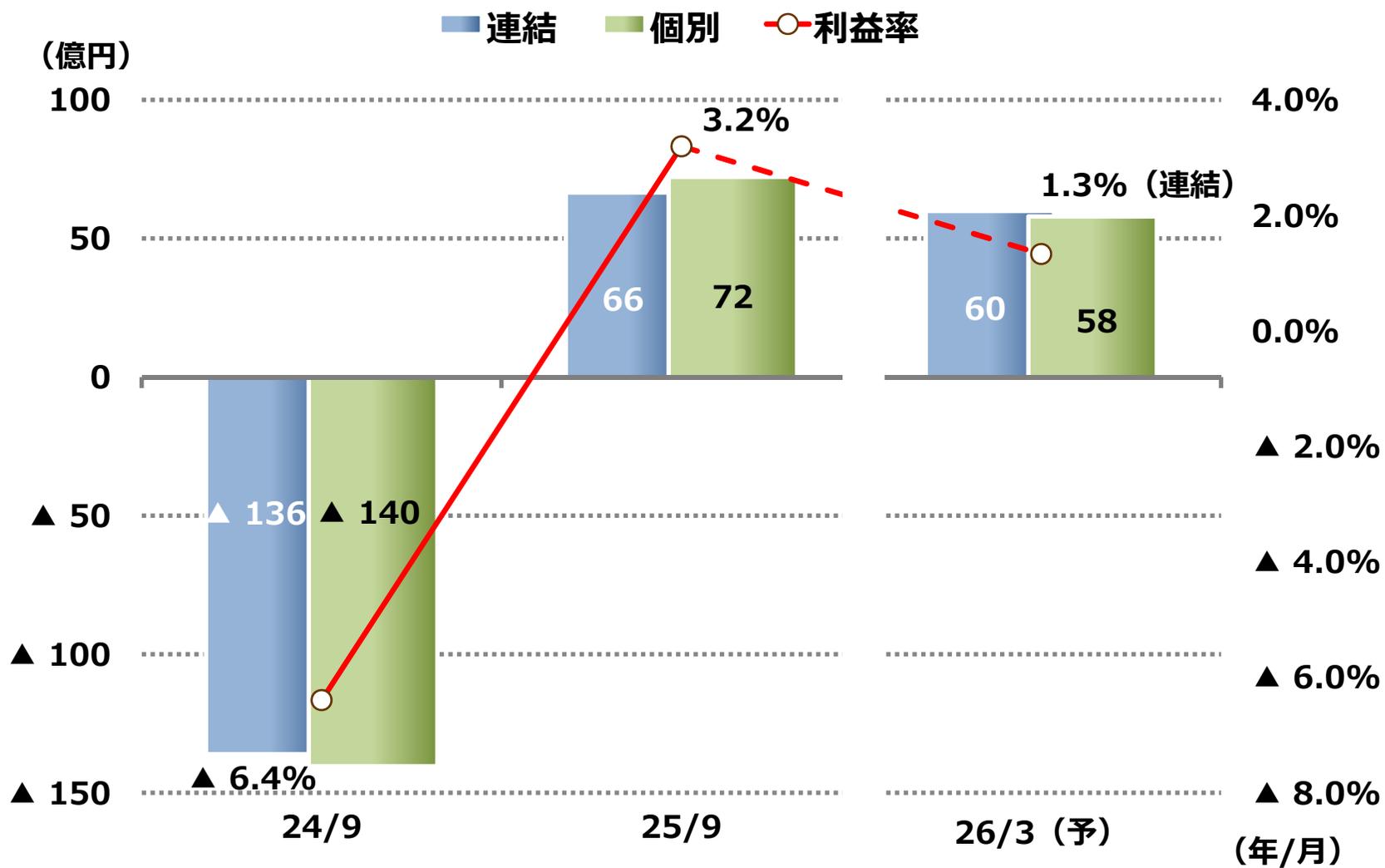
販管費の推移



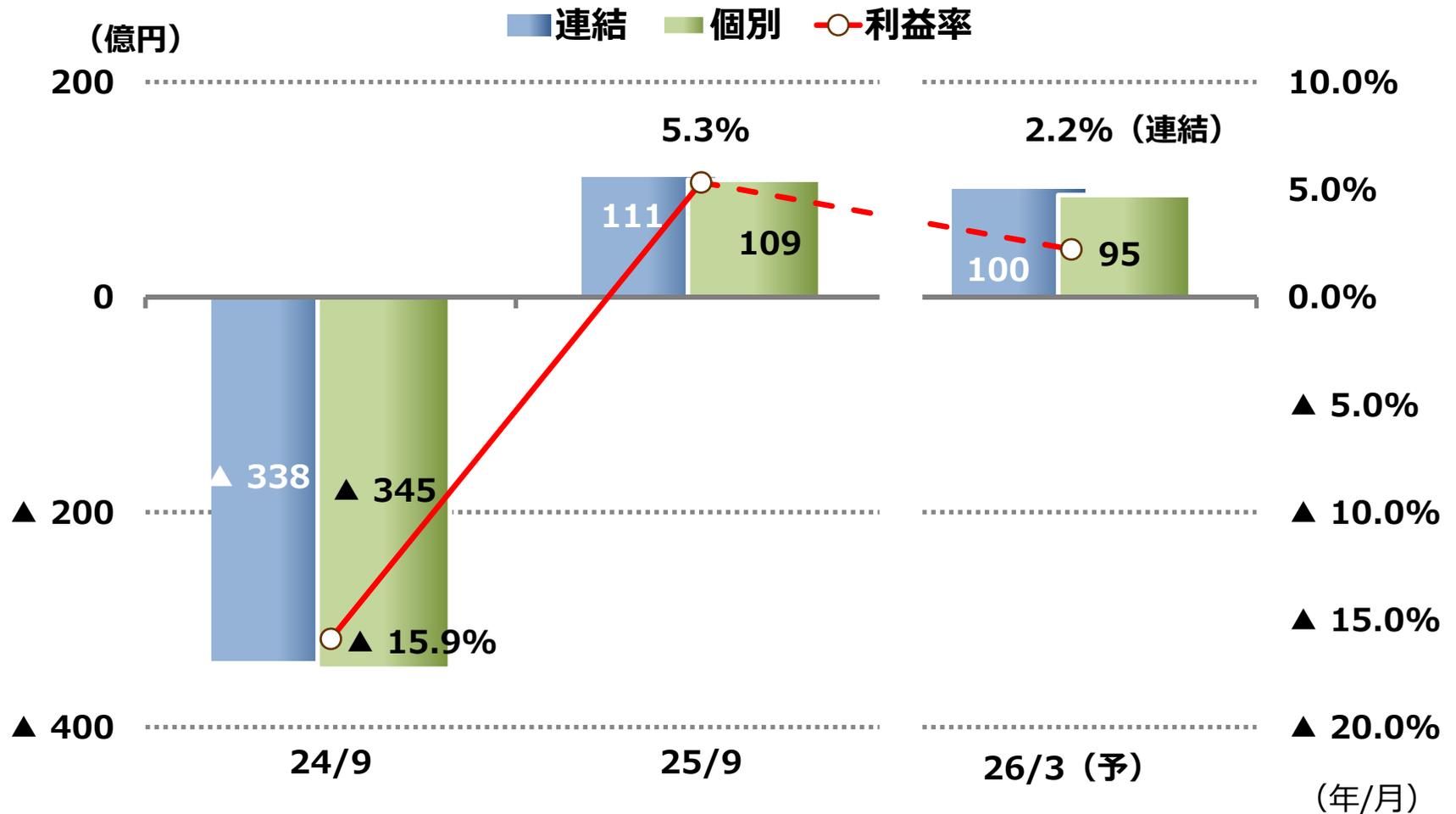
営業利益の推移



経常利益の推移

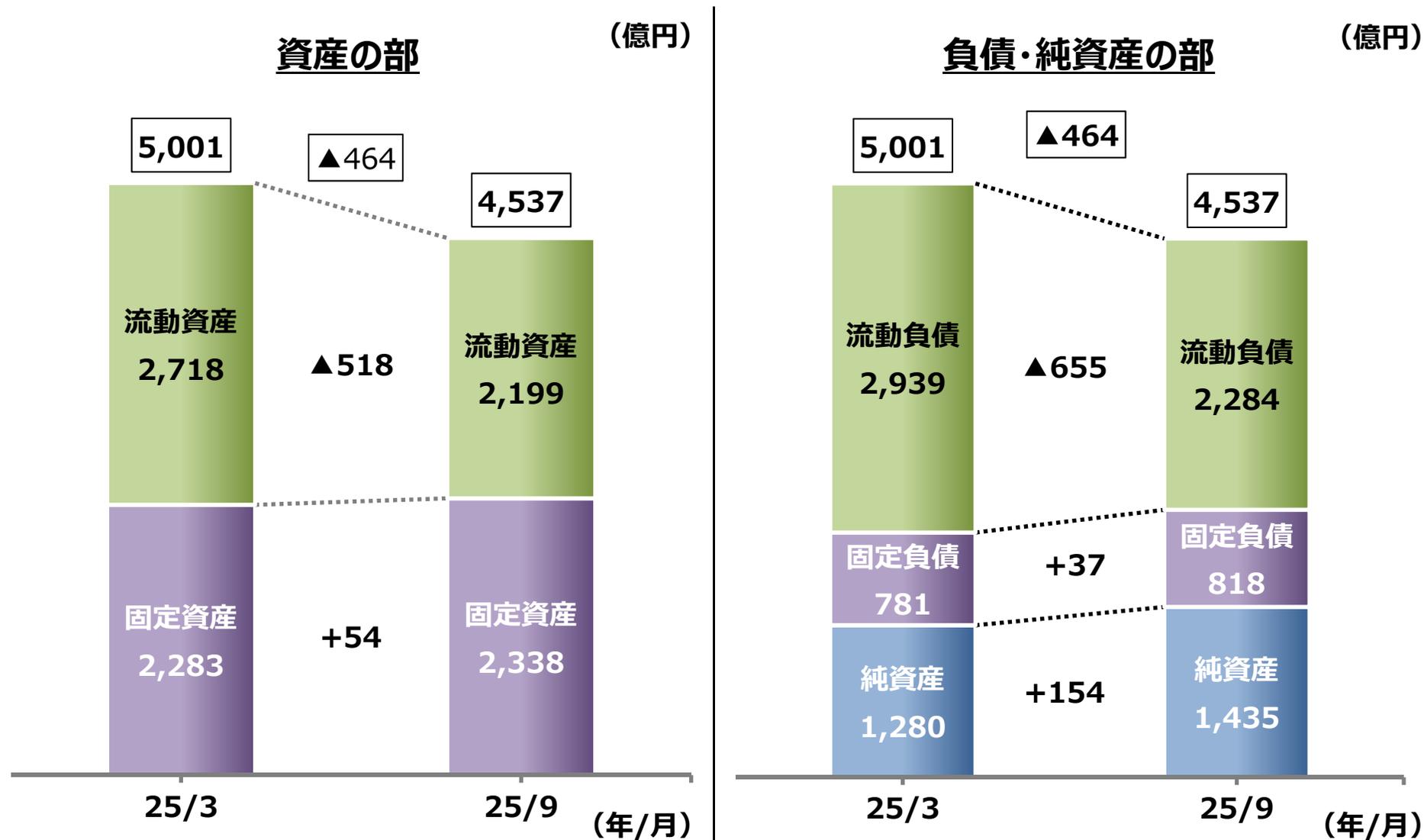


当期純利益の推移



1株当り当期純利益	▲ 108.64円	35.70円	30.99円
-----------	-----------	--------	--------

【連結】連結貸借対照表



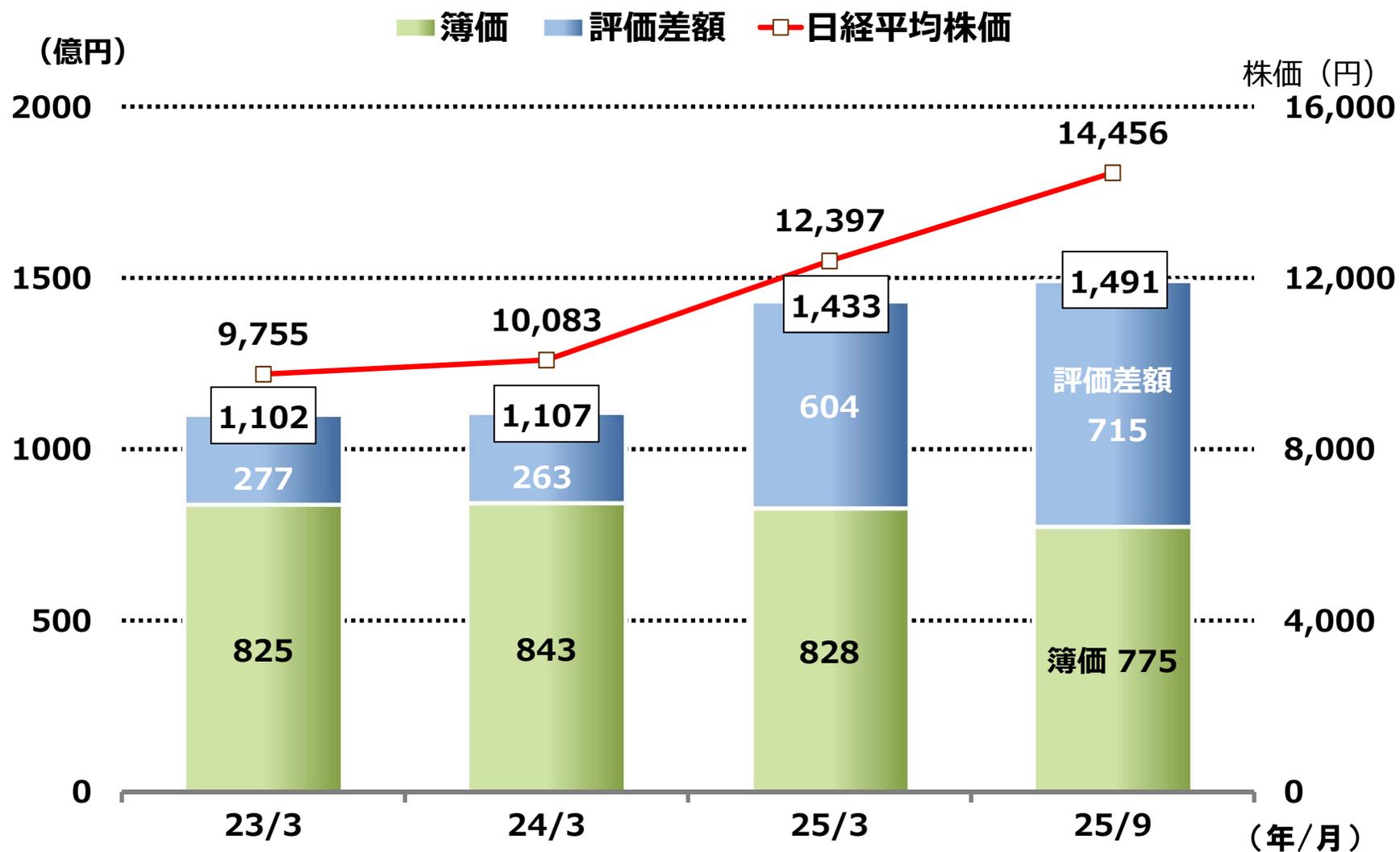
【連結】連結貸借対照表 詳細

単位：億円	25/3	25/9	ポイント ()内は前期比増減額
(資産の部)			
流動資産	2,718	2,199	現金 346 (▲41) 受取手形・未収入金 1,184 (▲462) 販売用不動産 223 (▲24) 未成工事支出金 274 (+72)
固定資産	2,283	2,338	
有形固定資産	781	782	建物・構築物 160 (▲3) 土地 611 (+2)
無形固定資産	30	28	営業権 - (▲3)
投資その他の資産	1,471	1,527	投資有価証券 1,491 (+58)
資産合計	5,001	4,537	

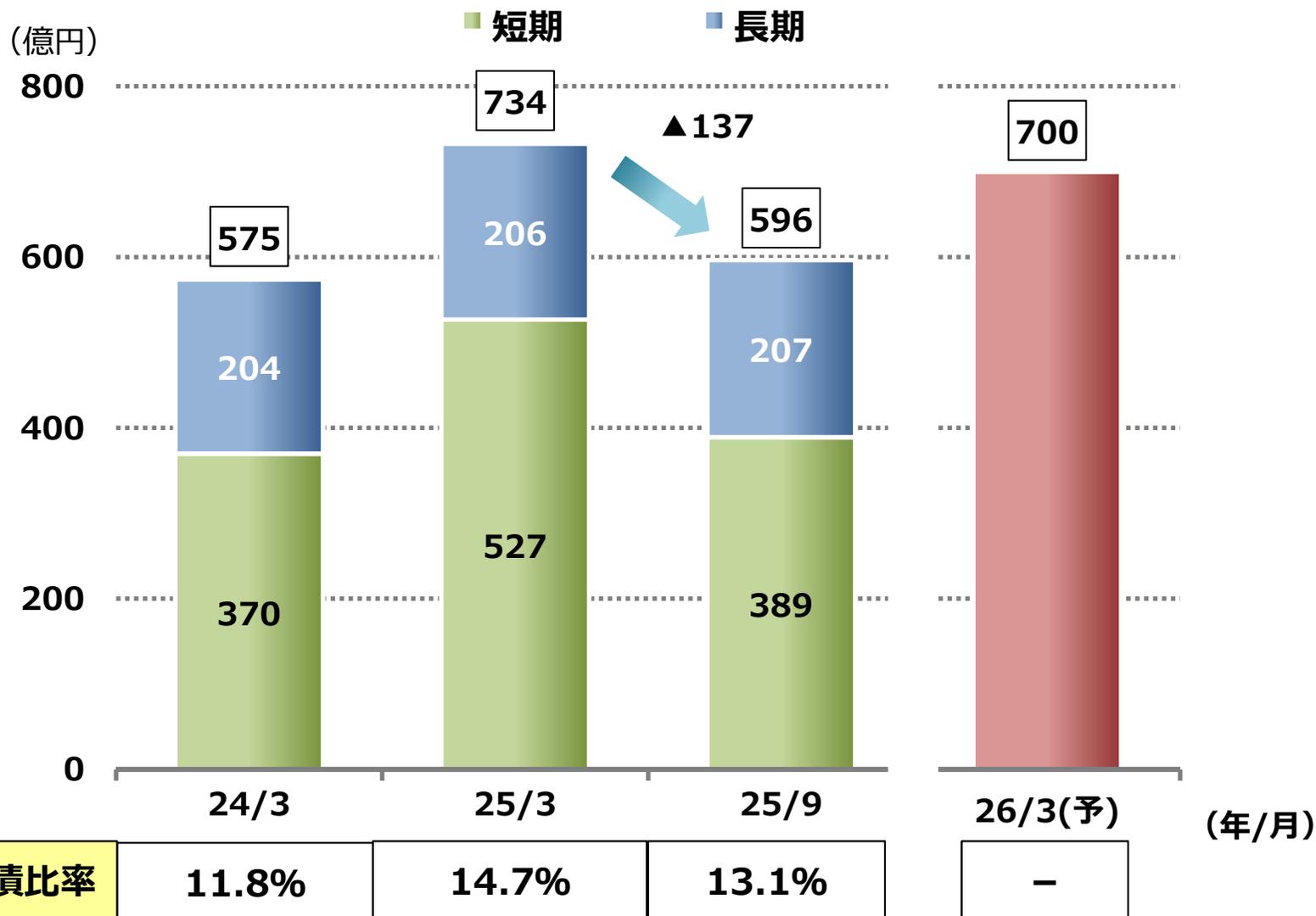
【連結】連結貸借対照表 詳細

単位：億円	25/3	25/9	ポイント ()内は前期比増減額
(負債の部)			
流動負債	2,939	2,284	支払手形・未払金 1,097(▲454) 短期借入金・CP 389 (▲138) 未成工事受入金 345 (+2) 工事損失引当金 156 (▲75)
固定負債	781	818	長期借入金 207 (+0) 繰延税金負債 254 (+30) 退職給付引当金 219 (+5)
(純資産の部)			
株主資本	792	886	
その他の包括利益累計額等	488	548	利益剰余金 461 (+94) 有価証券評価差額 462 (+62)
負債・純資産合計	5,001	4,537	

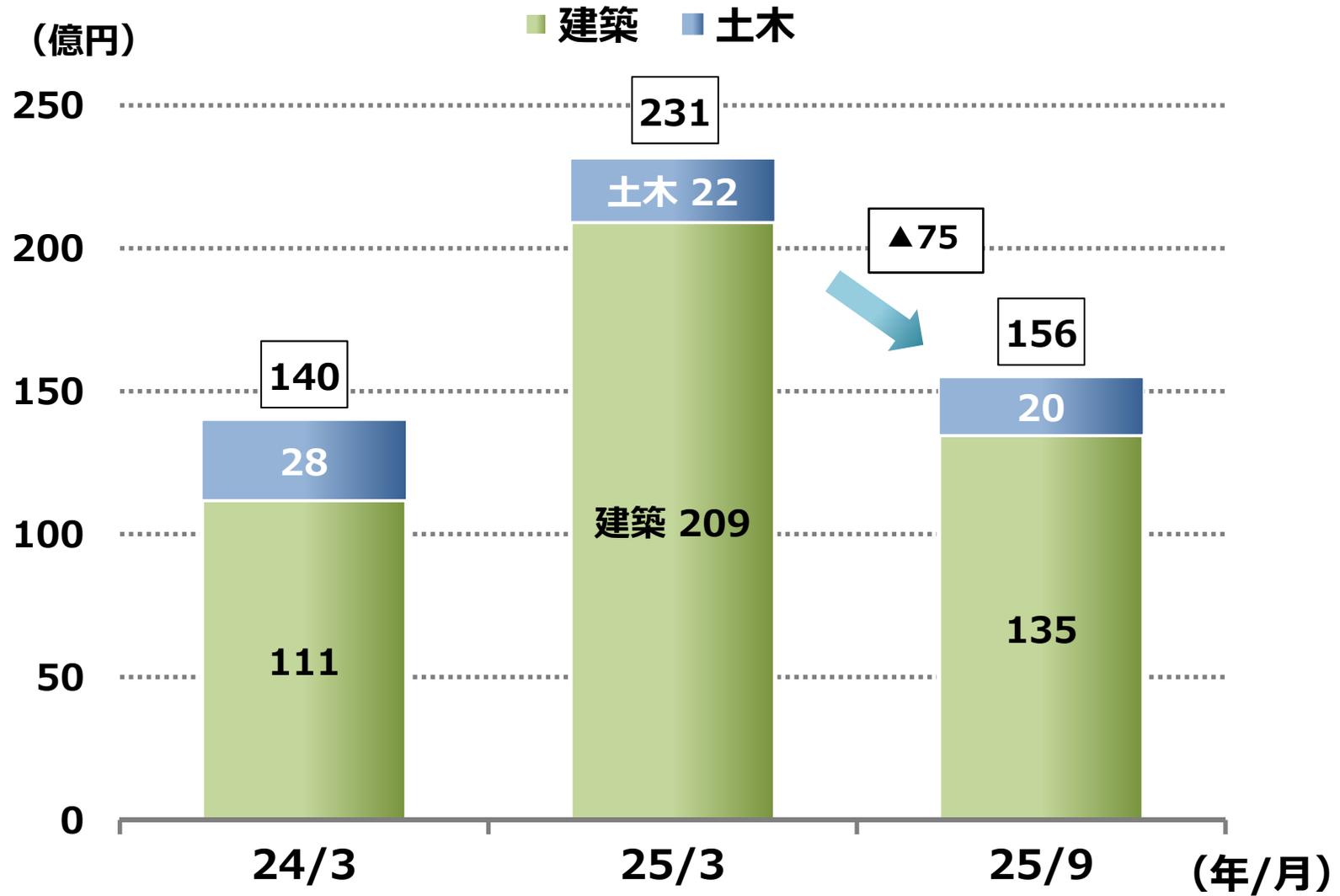
【連結】投資有価証券の推移



【連結】有利子負債の推移

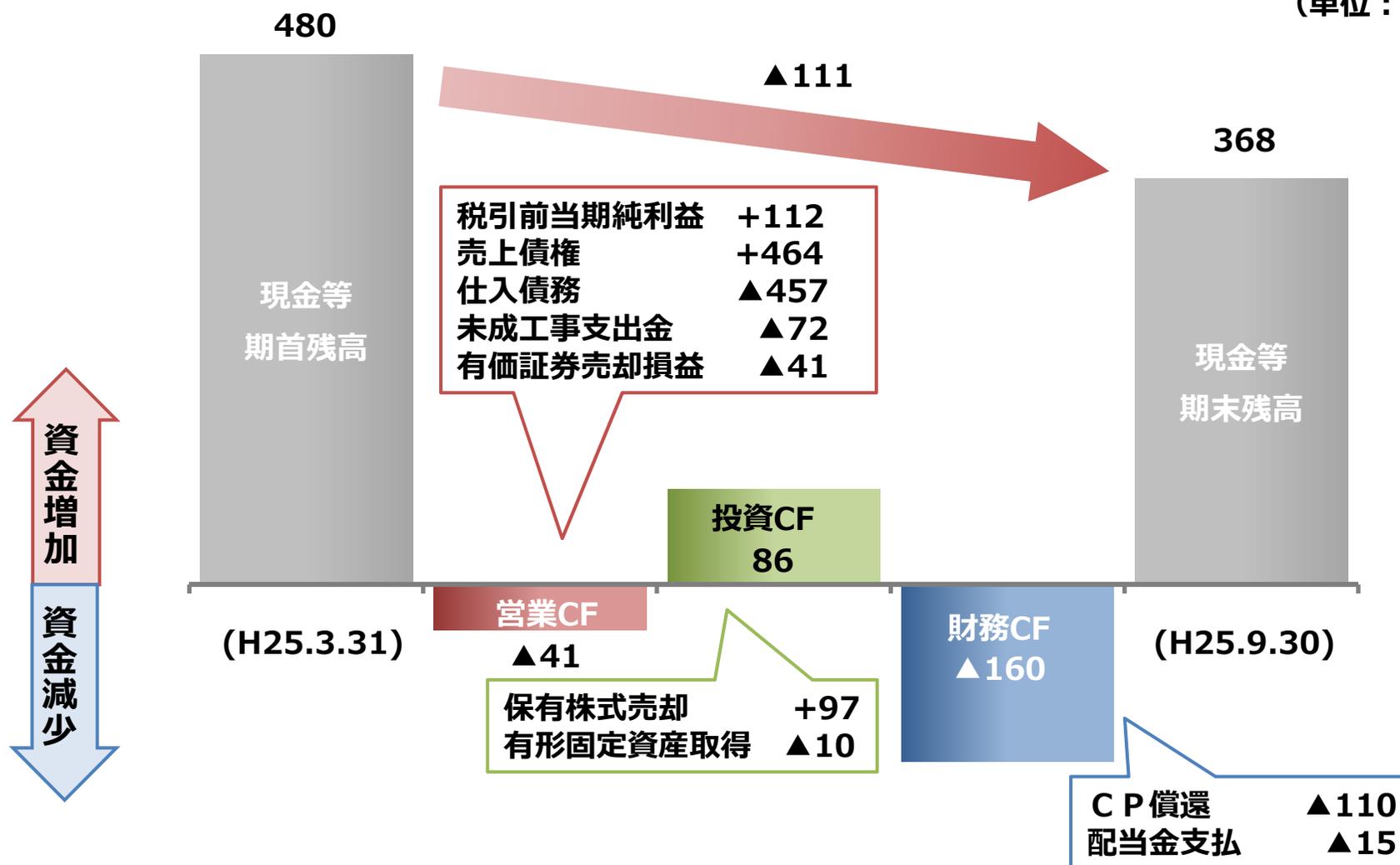


【連結】工事損失引当金の推移



【連結】キャッシュ・フロー

(単位：億円)



1 - 3 . 業績予測

平成26年3月期 決算予測

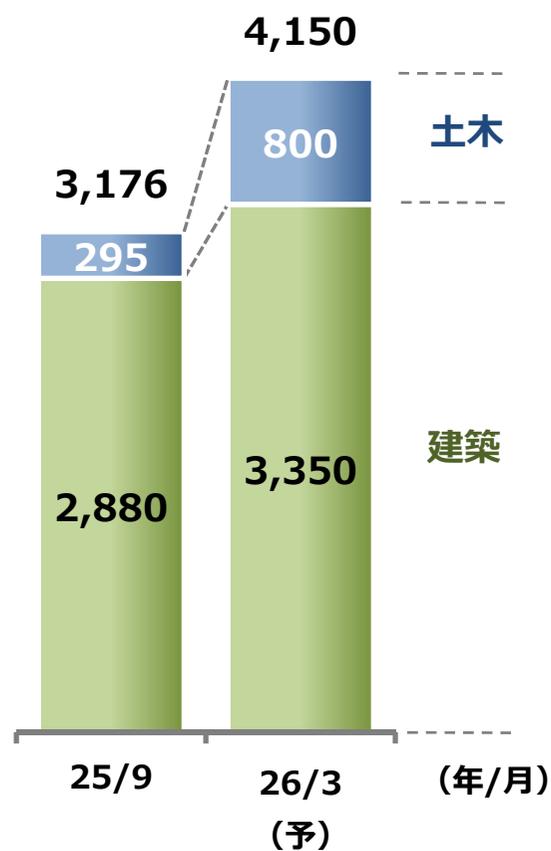
単位：億円	25/3期	26/3期		
		予 測	前期との差	
連結売上高	4,970	4,500	▲9.5%	▲470
営業利益	▲469	47		+516
経常利益	▲455	60		+515
当期純利益	▲652	100		+752
建設受注高（個別）	3,390	4,150	+22.4%	+759

※26/3期予測は、今回決算修正値

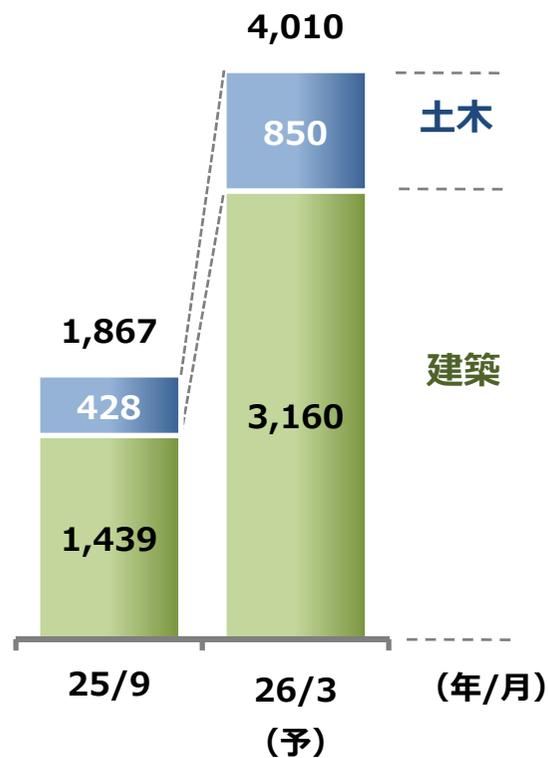
【個別】建設事業の業績予測

(単位：億円)

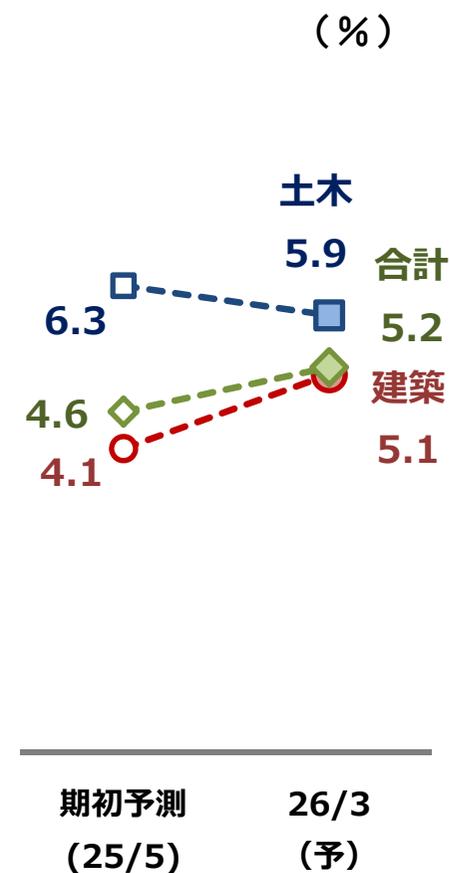
建設受注高



完成工事高



完成工事利益率



※26/3期予測は、今回決算修正値

平成26年3月期 個別業績の予測

	金額 (億円)	利益率 (%)	
売上高	4,080		
売上総利益	230	5.6	
建設事業 利益	210	5.2	
(建築)	(160)	(5.1)	
(土木)	(50)	(5.9)	
不動産事業等 利益	20	28.6	
一般管理費	185		
営業利益	45	1.1	
経常利益	58	1.4	
特別損益	37		投資有価証券 売却益
当期純利益	95	2.3	

※26/3期予測は、今回決算修正値

2. 課題と取り組み

代表取締役社長 今井 雅則

今期の課題

1. 黒字化に万全を期す。

- 改善施策の確実な遂行
- モニタリングの徹底、早期の対応

2. 収益力を再生する。

- 社内における価値観の転換
- 成長への仕掛け・仕組みづくり

改善施策の状況

選択受注の徹底

重点分野に傾注。営業案件に対する川上工程からのつくり込みを徹底。

受注管理体制の強化

営業～受注～予算策定に至る決裁フローを見直し。受注時利益率が改善。

工事採算の管理

保守的な収益見積もり、モニタリングを徹底。完成工事利益の通期予測を上方修正。

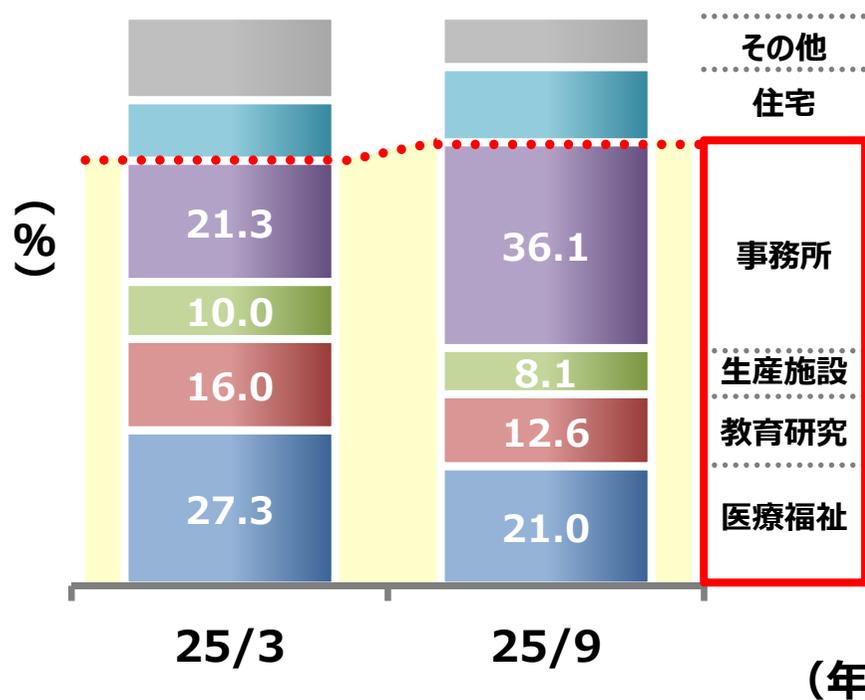
一般管理費の削減

概ね計画通りに推移。
通期予測：185億円（個別、前期比▲8.0%）

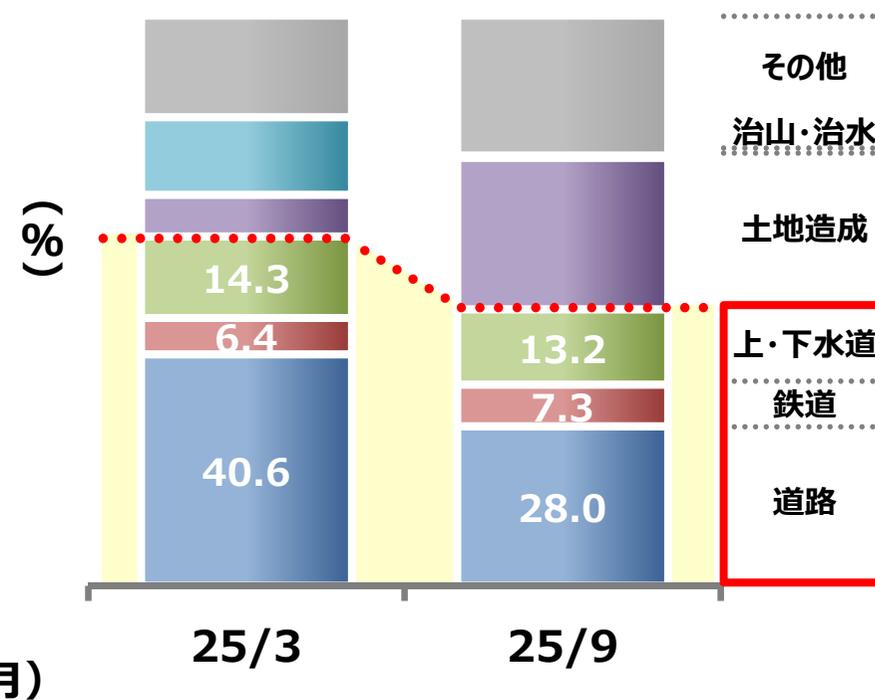
建設事業 受注構成比率

大型再開発、復興工事の受注により比率が変動

建築（工事種類別）



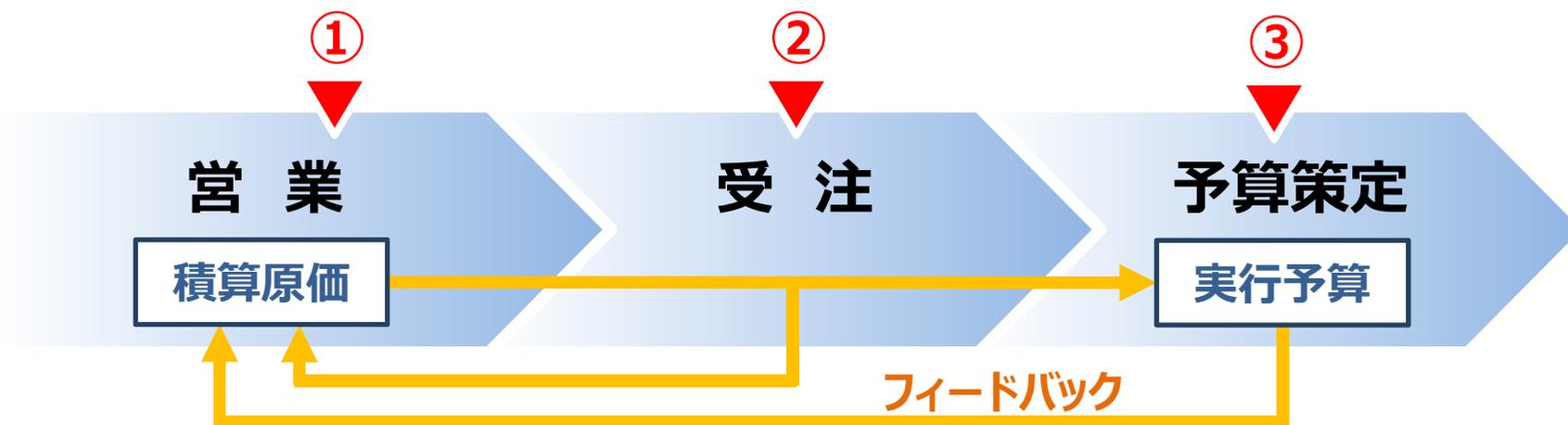
土木（工事種類別）



※ は重点分野

受注管理体制の強化

プロセスを通じて、判断・検証のサイクルを回す



① 受注承認会議
(本年4月設置)

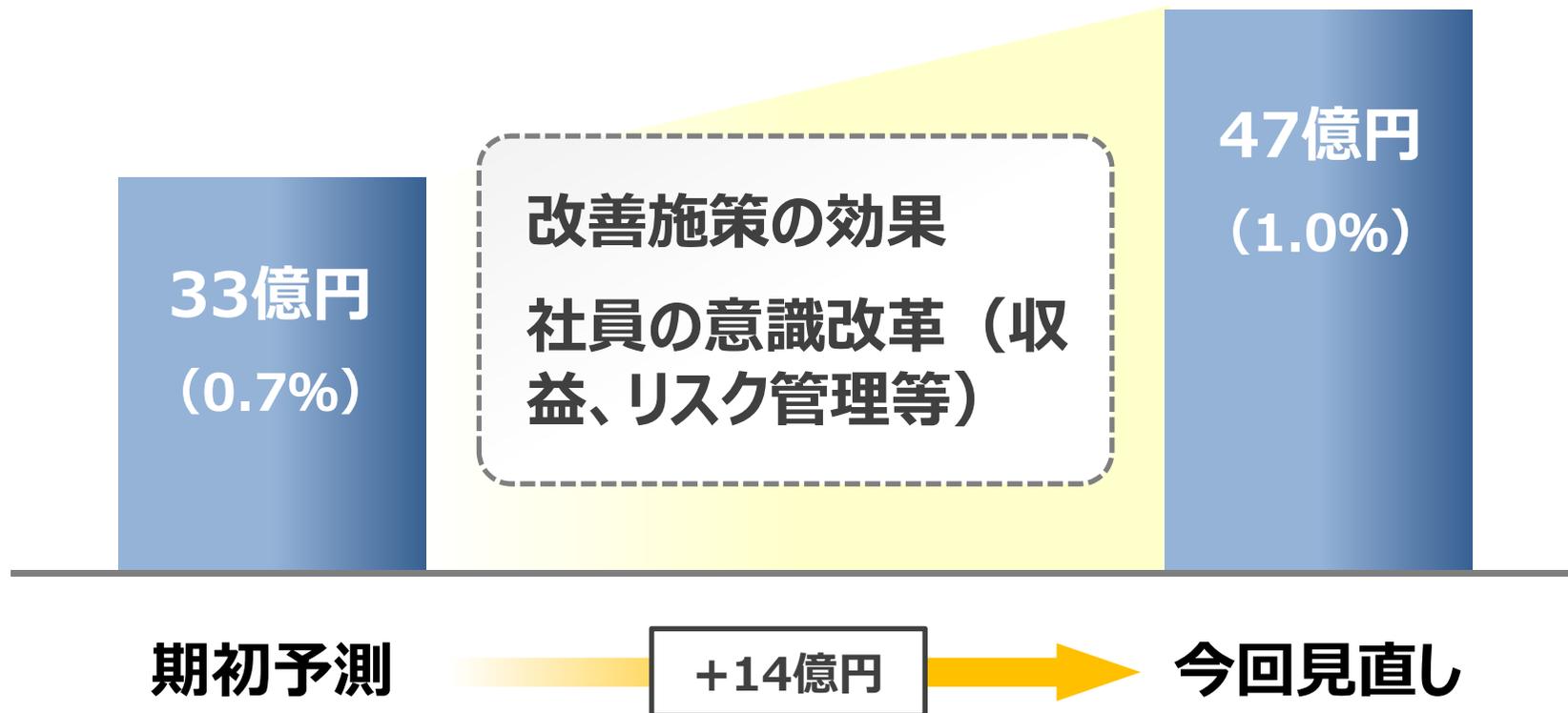
② 受注時判断検討委員会
(昨年10月設置、体制見直し)

③ 実行予算審議会
(体制見直し)

適時性の確保、本社・管理部門による関与拡大

今期見込み・営業利益

取り組みを継続し、黒字化を確実なものに



※（ ）は営業利益率

今期の課題

1. 黒字化に万全を期す。

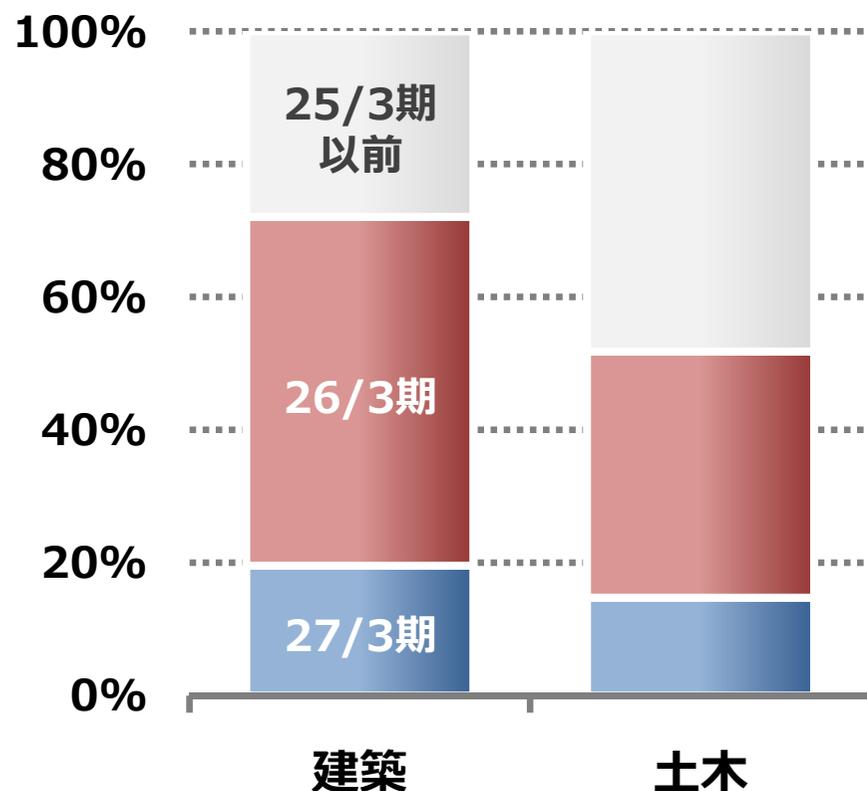
- 改善施策の確実な遂行
- モニタリングの徹底、早期の対応

2. 収益力を再生する。

- 社内における価値観の転換
- 成長への仕掛け・仕組みづくり

建設事業 売上構成比率 (27/3期予測)

27/3期 売上構成比率 (受注期別)



**26/3期及び
27/3期受注工事が
売上の主体に**

建築の26/3期受注工事は、
2Qまでに大半が受注済み

下半期の取り組み課題

来期以降を見据えて収益力を強化

(手持工事の利益向上、営業案件のつくり込み)

重点テーマ

スピード感をもって“あるべき姿・成長基盤”をつくり上げる

価値創造の取り組み

戦略分野の強化

生産性の向上

改善施策の継続

価値創造基盤の構築

当社独自の価値創造に向けた体制を再整備



戦略分野の強化方向性

国際

早期の事業部化。
事業展開、人材育成を含めた
中長期戦略を再構築。

投資開発

パイロット事業の絞り込み。
建設・開発事業と不動産賃貸
事業の融合を検討。

環境・エネルギー

価値創造基盤に組織編入。
浮体式洋上風力発電の事業
化に向けた取り組みを推進。

関係会社

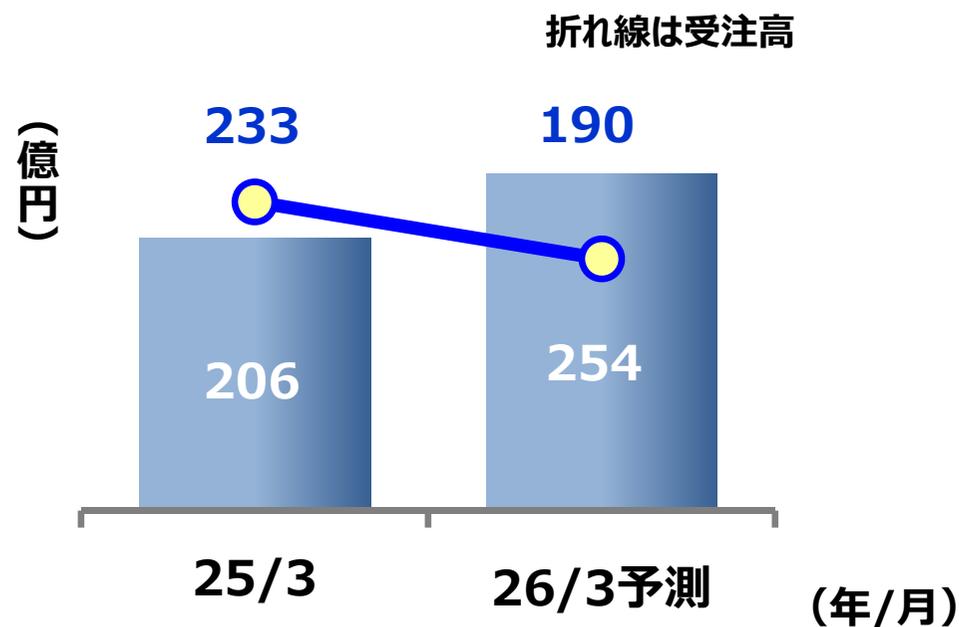
建設ライフサイクルを通じて、
お客様価値を創造する経営体
制へ移行。

海外事業・不動産事業 業績予測

28/3期目標：売上高300億円

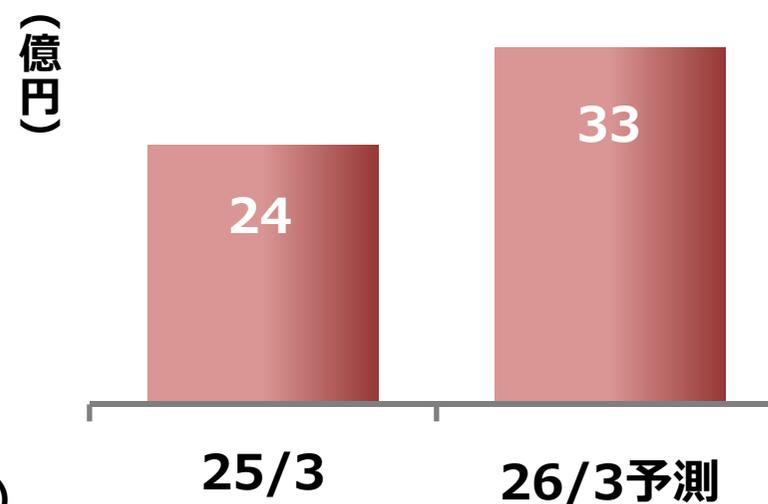
28/3期目標：粗利益40億円

海外建設売上高（連結）



※ 26/3予測レート：1US\$ = 96.9円

不動産等利益（連結）



※ 評価損 25/3期：5億円

浮体式洋上風力発電への取り組み



2MW級の実証機の 運転を開始

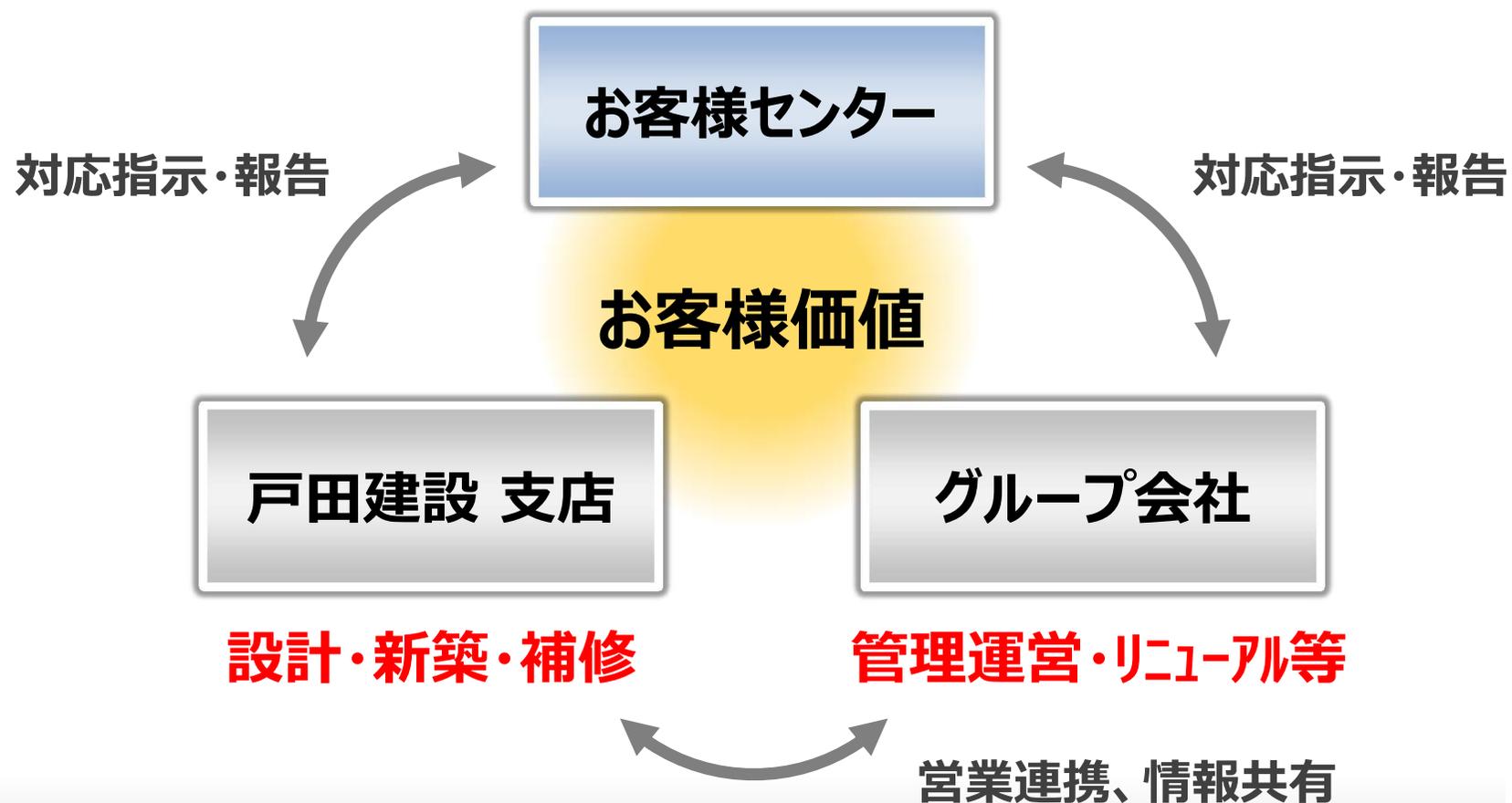
10月、長崎県五島市栴島周辺海域にて、2MW風車を搭載した浮体式洋上風力発電施設の運転を開始。

商用規模としては日本初、ハイブリットスパー型としては世界初。

建設ライフサイクルを通じたお客様価値の創造

グループ連携、情報共有による組織力強化

お客様窓口の一元化、迅速な対応



組織の新設

マーケットの要請にスピーディに対応

9月8日

オリンピック東京大会決定

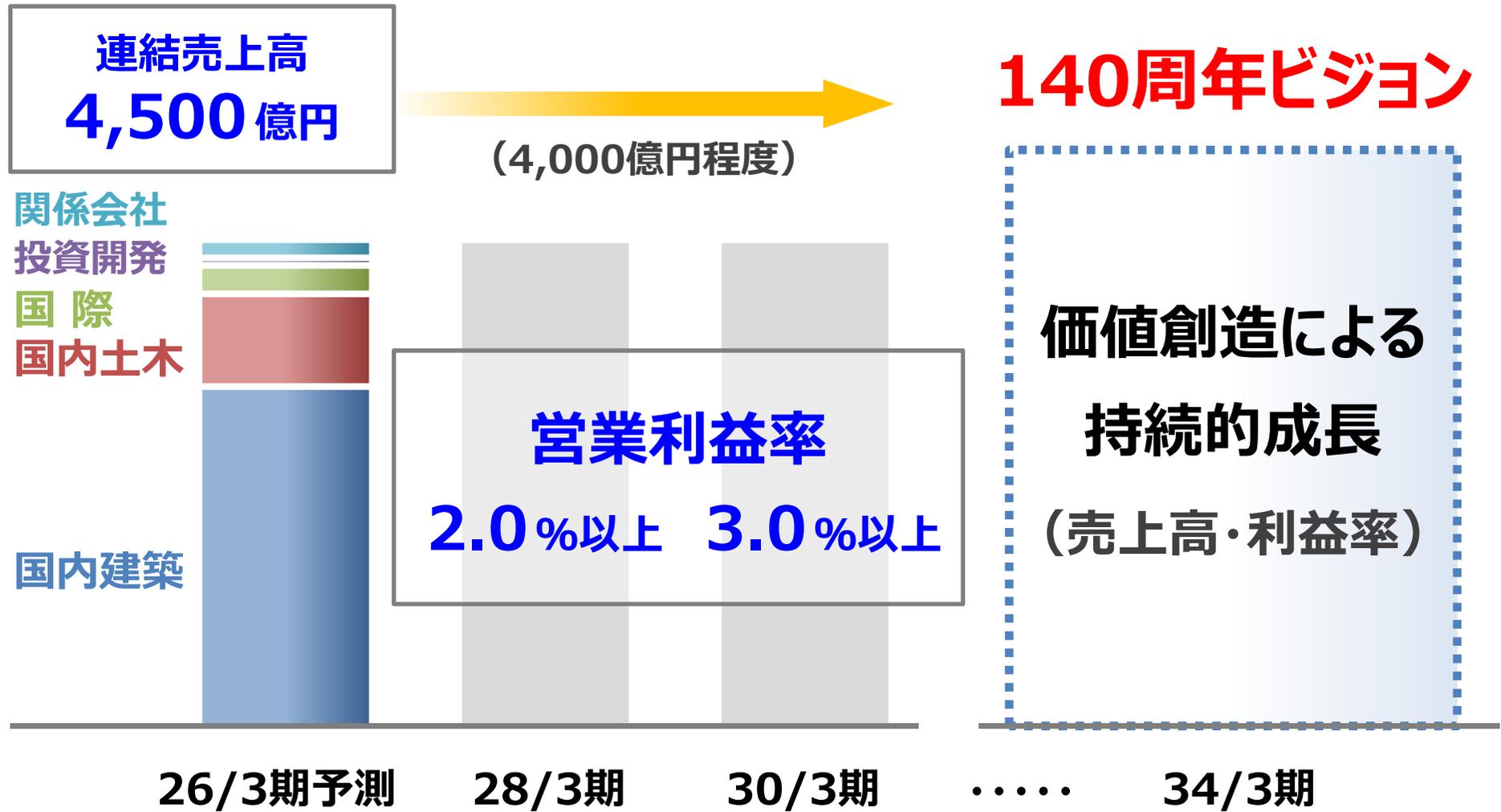


9月20日

**東京大会プロジェクト室
を東京支店内に設置**

今後の方向性：リニア中央新幹線、政府成長戦略など

中長期目標・イメージ



人がつくる。人でつくる。



戸田建設